

外国語学部 (英米) [英語]

1-D 2-B 3-B 4-C 5-D 6-B 7-D 8-D 9-C  
 10-D 11-B 12-A 13-A 14-B 15-B 16-C 17-B 18-C  
 19-A 20-D 21-D 22-B 23-C 24-C 25-C 26-A 27-B  
 28-D 29-C 30-A 31-D 32-B 33-D 34-B 35-D 36-A  
 37-A 38-D 39-C 40-D 41-A 42-C 43-B 44-D 45-C  
 46-A 47-C 48-B

リスニング

49-B 50-A 51-D 52-B 53-B 54-D 55-B 56-C 57-A  
 58-C 59-D 60-A 61-A 62-B 63-B 64-D 65-B 66-B  
 67-C 68-A

英語 外国語学部 (英米)

<全体分析>		試験時間 90 分
解答形式 すべてマーク式		
分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし、 <u>やや増加</u> ) 難易 (易化・ <u>変化なし</u> ・難化) リスニング以外の問題数が3ポイント増えて、45から48になった。		
出題の特徴 特になし		
その他トピックス 長文読解 (A II) が2題から1題に減少した。		

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
A I	文法・語法	文法・語法・熟語	標準的な文法問題と、動詞・名詞・形容詞・前置詞などの語法が出題される。18. の address と 19. の disband はやや難の動詞。 「筆跡学を人材の採用に用いること」について述べた文章。22. は動詞の知識、25. は名詞の知識と文脈を把握する能力を問う問題。	標準
A II	読解総合 (長文内容一致・他)	「筆跡学」	「筆跡学を人材の採用に用いること」について述べた文章。22. は動詞の知識、25. は名詞の知識と文脈を把握する能力を問う問題。	標準
A III	英語総合	中文空所補充	「写真家としての人生」文脈と、動詞・名詞などの語義・語法を問う問題。40. は look, seem, appear, resemble の意味・用法の違いを問う紛らわしい問題。	標準
A IV その2	聞き取り	会話・長文形式	A は会話に対してそれぞれ1問ずつ内容一致の問題が出される (10問)、B は会話に対してそれぞれ2問ずつ内容一致問題が出される (10問)。A・B いずれも長文が出される場合もある。放送は1回しか聴き取れない。会話や長文の難度はそれほど高くないが、選択肢が紛らわしいことがあるので注意が必要。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」  
 難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

A I は標準的な文法と、動詞・名詞・形容詞・前置詞などの語法、熟語が出されるが、こうした知識を問うものは本番までの地道な努力が物を言い、大きな差となって現れるのでしっかりと勉強しておくこと。A II の長文読解では、内容的に難度の高いものも出ているので、難しい内容の英文に慣れておくこと。A III の中文空所補充は、文法・語法の知識をつけることと、文脈に合う選択肢を見つける練習が必要だ。また、リスニングは90分のうちのおよそ20分を占めるので、残りの70分で筆記部分を書くことになる。問題数がやや増加しているため、時間配分に注意したい。リスニングは日ごろから NHK のラジオ・テレビ講座などで常に耳を鍛えること。英検のリスニング対策問題集も役に立つ。